## 建設リサイクル法に関する事務処理の手引

#### 1. 建設リサイクル法の目的

特定の建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進するための措置を講ずるとともに、解体工事業者について登録制度を実施すること等により、再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を通じて、資源の友好な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。

#### 2. 建設リサイクル法の概要

- ① 建築物等に係る分別解体等及び再資源化等の義務付け
- ② 発注者・受注者の届出・契約等の手続きの整備
- ③ 解体工事業者の登録制度の創設

#### 3. 対象建設工事の定義

対象建設工事とは、特定建設資材[表-1]を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定 建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が[表-2]に示す規模基準以上の工事で平成1 4年5月30日以降に契約する工事。

特定建設資材を使用しない工事及び特定建設資材廃棄物[表-3]を排出しない工種のみで構成される工事は、[表-2]に示す規模基準以上の工事であっても対象建設工事とならない。

#### [表-1]

特定建設資材	具 体 例
コンクリート	現場打ちコンクリート(無筋コンクリート、鉄筋コンクリー
	ト、PCコンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート等)、無筋コン
	クリート二次製品
コンクリート及び鉄から成	有筋のコンクリート二次製品(鉄筋コンクリート二次製品、P
る建設資材	Cコンクリート二次製品、鉄骨鉄筋コンクリート二次製品)
アスファルト・コンクリート	アスファルト混合物
木材	木材製品、仮設等で使用する木矢板、型枠

#### [表-2]

	対象建設工事		規模基準	<b>性</b>	
	解体工事	延べ床面積	$\geq$	8 0 m²	
建築物	新築・増築工事	延べ床面積	$\geq$	$500\mathrm{m}^2$	
	修繕又は模様替工事	契約金額(税込)	$\geq$	1億円	
その他のエ	作物(土木工事等)	±刀√分	_	F O O TIT	
※土木	工事には解体・新築の区別なし	契約金額(税込)	<b>=</b>	500万円	

### [表-3]

特定建設資材廃棄物(特定建設資材が廃棄物になったもの)

- ・コンクリート塊
- ・アスファルト・コンクリート塊
- 建設発生木材

### 建設リサイクル法関係契約等事務手続きフローチャート

工事担当課:対象建設工事である旨の通知(案件入力後すみやかに契約担当課まで)

1

契約担当課:対象建設工事である旨の明示(一般競争入札公告又は指名通知書等に記載)

1

契約担当課:落札者に説明書等(「説明書」、「分別解体等の計画等(別表 1 ~ 3\*1)」、「特記事項(様式 1 ~ 3\*2)」)の提出を依頼(落札者決定後すみやかに)

↓ 落札者決定から3日以内(休日含まない)

工事担当課:落札者より説明書等の受領及び確認。

適切なら契約担当課へ「特記事項(様式1~3※2)」のみの写しを3部提出。

(その他の説明書等は工事担当課で保管)

1

契約担当課:「特記事項(様式1~3※2)」を契約書に添付し、契約締結

1

工事担当課:工事着手(契約工期ではありません)の7日前までに豊田加茂建設事務所維持管理課へ 通知書(案内図、工程表、現況写真、再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書を

添付)を提出

(建築物に係る解体・新築・増築・修繕・模様替で対象工事となるものは、市都市計画課

開発指導担当へ提出)

受 注 者: 当該工事の発注者 (工事担当課) へ再資源化等が完了した旨を書面 (再資源化等報告書) で報告

※1、2は当該工事に該当する書面

注)土木工事・その他の工作物等の契約金額で指定されるものは、特定建設資材使用量がわずかであっても契約金額がそれ以上であれば対象建設工事となります。

## 説 明書

年 月 日

(発注者)

みよし市長

様

住 所 商号又は名称 代表者氏名

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条第1項の規定により、対象 建設工事の分別解体等の計画等に係る事項について説明します。

記

- 1 工 事 名
- 2 路線等の名称
- 3 工事場所
- 4 説明内容 別添資料のとおり
- 5 添付資料
  - ①別表(別表1~3のいずれかに必要事項を記載したもの)
    - □ 別表1 (建築物に係る解体工事)
    - □ 別表2 (建築物に係る新築工事等 (新築・増築・修繕・模様替))
    - □ 別表3 (建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等))
  - ②特記事項(様式1~3のいずれかに必要事項を記載したもの)
    - □ 様式1 (建築物に係る解体工事)
    - □ 様式2 (建築物に係る新築工事等 (新築・増築・修繕・模様替))
    - □ 様式3 (建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等))
  - ③工程等の概要を示す資料
    - □工程表

別表 1 (A 4)

# 分別解体等の計画等

	建築	等物の	)構造	□木造 □鉄骨	□鉄骨鉄筋コンクリート造 造 □コンクリートブロック造	□鉄筋コ □その他	ンクリート造 ( )
		建築	<b>桑物の状況</b>	築年数 その他	年、棟数 棟	)	,
	物に関す 査の結果	周辺	四状況		ある施設 □住宅 □商業施設 □病院 □その他( 界との最短距離 約m (	□学校	)
					建築物に関する調査の結果	-	L事着手前に実施する措置の内容
		作業	<b></b>	作業場所での他	所 □十分 □不十分 ( )		
建筑	柳州終験				□有( )□無 路の幅員 約 <u> m</u> □有 □無 ( )		
る調 及び	査の結果 工事着手	残存	字物品	□有 ( □無		)	
	実施する 置の内容	特定付着	定建設資材への 音物	□無	□ 飛散性石綿(吹き付け石綿 等) □ 石綿含有建材(石綿含有ビニル床タイパ □ その他 ( )	小等)	
		その他	特定建設資材 以外への付着 物 他	□無	□ 飛散性石綿(鉄骨等に吹付けられた石綿を含有する断熱材・保温材・耐火被覆材 □ 石綿含有建材(スレート・カラーベス □ その他 ( )	等)	
			工程	•	作業内容		分別解体等の方法
工程ごと	① <b>建</b> 築設	が備・	内装材等		建築設備・内装材等の取り外し □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由 ( )
工程ごとの作業内容及び	②屋根ふ	き杉	t		屋根ふき材の取り外し □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由 ( )
容及び知			部構造部分		外装材・上部構造部分の取り壊 □有 □無	長し	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
解体方法	④基礎·	基礎	をぐい		基礎・基礎ぐいの取り壊し □有 □無		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
法	⑤その他 (	1		)	こら □		□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	I	事の	工程の順序		□上の工程における①→②→③ □その他( その他の場合の理由(	3→④の順序	)
	□内装材	ナルニオ	材が含まれる場	合	①の工程における木材の分別に支障 □可 □不可 不可の場合の理由(	章となる建設賞	が付の事前の取り外し )
Ž	建築物に用い	いられ	に建設資材の量の	見込み	トン		
1	特定建設	資材	廃棄物の種類こ	どの量	種類	量の見込み	発生が見込まれる部分(注)
廃棄物発生見込量	の見込み 建築物の		べその発生が見込 }	まれる	□コンクリート塊	トン	
発生					□アスファルト・コンクリート塊	トン	
見込量					□建設発生木材	トン	□① □② □③ □④ □⑤
		建築語	設備・内装材等 ②	屋根ふき材	③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎	きぐい ⑤その他	
備老	5						

<sup>□</sup>欄には、該当個所に「レ」を付すこと。

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

## 分別解体等の計画等

	使用する 資材	る特別			·クリート □コンクリート及び鎖 ·ファルト・コンクリート □木木		資材	
7-1-		建領	を物の状況	築年数 その他	(年、棟数棟 」(	)		
	築物に関 る調査の 結果	周辺	2状況		,	□学校	)	
					建築物に関する調査の結果	工事	事着手前に実施する措置の内容	
		作業	<b>美場所</b>	作業場で	所 □十分 □不十分 .( )			
	築物に関す 関査の結果	搬出	出経路	前面道	□ □有( ) □無 路の幅員 約 <u> m</u> m □有 □無 .( )			
及で前に	が工事着手 に実施する 置の内容	の作	定建設資材へ け着物(修繕・ 様替工事のみ)	□有□無	□ 飛散性石綿(吹き付け石綿 等) □ 石綿含有建材(石綿含有ビニル床タイル) □ その他( )	ル等)		
		その他	特定建設資 材以外への 付着物	□有	□ 飛散性石綿(飲骨等に吹付けられた石綿を含有する断熱材・保温材・耐火被愛料 □ 石綿含有建材(スレート・カラーベス□ その他( )	材 等)		
<u> </u>			他					
			工程			作業内容		
	①造成等	· ·			造成等の工事 □有 □無			
工程ごとの	工 ②基礎・基礎ぐい 程 ② L なびばかけない。 かいけ				基礎・基礎ぐいの工事□有□			
とのと	る ③上部構造部分・外装				上部構造部分・外装の工事□□	有 □無 		
作業内容	<ul><li>④屋根</li></ul>				屋根の工事 □有 □無			
容	⑤建築設(	備・内	·装等		建築設備・内装等の工事 □有	□無		
	⑥その他 (			)	その他の工事 □有 □無			
			を乗物の種類こ バこ特定建設資		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が 見込まれる部分(注)	
廃棄物			整物の部分及び めの発生が見込		□コンクリート塊	トン		
廃棄物発生見込量	る建築物の				□アスファルト・コンクリート塊	トン		
元込量				-	□建設発生木材			
	(34-) (1)/	4-,1-> <i>/</i> -/-	②#7# ② L##	<u>↓#\+→7/</u> / .	· 外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥	トン		
備る		告成等	②基礎 ③上刊	<b>博迈部刀</b>	外装 生產帐 ⑤建築政师・四表寺 ⑥	その他		
VH3-	7							

□欄には、該当個所に「レ」を付すこと。

## 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

# 分別解体等の計画等

工事の種類	工作物の構造	告(解作	本工事のみ)	□鉄筋	コンクリート造 □そ	·の他 (	)			
日本の他				□新築	工事 □維持・修繕工	事 □解体工	事			
使用する特定建設資材の権額										
(事務・維持・修繕工事のみ)		<i>-</i>								
工作物の状況   条件数	■ 使用する特■ (新築・維持	定建設 寺・修繕	覚材の種類 善工事のみ)							
Trintに関する調査の	, , , , , , ,			築年数	[年					
1	工作物に関		F10071/()L		-		O.C.I.da			
新来				周辺に			子仪 )			
工作物に関する調査の結果	結果	周記	2次次		界との最短距離 約_		,			
作業場所				その他		/ L				
T-F				\ <del>/\/\-</del> \+E			工事看手前に実施する措置の内容			
「応用」   「原書物		作	業場所			•				
正作物に関する調査の				障害物	」□有( )□無					
その他(		搬出	出経路			l				
特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事の 分)										
事着手前に実施する措置の内容       ○付着物(解体・維持・修繕工事のみ)       一年       ○不他()       ○不他()       ○不他()       ○不他()       ○不他()       ○不他()       ○不成合有様材(石橋合有様付石橋合有様付石橋合有様)       ○不成合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○無       ○不成合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(本)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(本)       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様人の単一の無に対していまする。       ○五統合有様材(スレート・カラーベスト等)       ○五統合有様材(本)       ○五統合有権対していまする。       ○五統合有権、機械作業の併用       ○五統合有権、機械作業の併用       ○五統合有権、機械作業の併用       ○五統合権権の正事に対していまする。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権を定する。       ○五統合権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権権を定する。       ○五統合権権を定する。       ○五統合権権権		44-7-	定建設資材へ			帛 等)				
実施する措置の内容		の作				ごニル床タイル等)				
であって			・修繕工事の		. □ その他(	)				
大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田	置の内容	97)			   □ 飛動性石綿(鉄骨等)ご吹ん	tけられた石綿 石綿	e e			
付着物		7								
世   世   世   世   世   世   世   世   世   世		$\mathcal{O}$				・カラーベスト等)				
工程 作業内容 分別解体等の方法 (解体工事のみ) ①仮設 仮設工事 □有 □無 □ 手作業 ・ 接続作業の併用 ②土工 土工事 □有 □無 □ 手作業 ・ 接続作業の併用 ③基礎 基礎工事 □有 □無 □ 手作業 ・ 接続作業の併用 ④本体構造 □ 本体構造の工事 □有 □無 □ 手作業 ・ 接続作業の併用 ⑤本体付属品 本体付属品の工事 □有 □無 □ 手作業 ・ 接続作業の併用 「⑤をの他 ( ) その他の工事 □有 □無 □ 手作業 ・ 接続作業の併用 エ事の工程の順序 (解体工事のみ) □ 上の工程における⑥→④→③の順序 □ 上の工程における⑥→④→③の順序 □ との他の場合の理由 ( ) こに物に用いられた建設資材の量の見込み (解体工事のみ) 「日本の他の場合の理由 ( ) トン 「特定建設資材を棄物の種類ごとの量の 種類 ■ 量の見込み 使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)		他	11/目初	□無	□その他(	)				
Table	<u> </u>									
解体方法	T. Overs		工程							
解体方法	程				仮設上事 □有 □無	#				
解体方法	を ②土工				土工事 □有 □無					
解体方法	作業の世球					III.				
解体方法	内 宏 に の を に の に の				左院上 <del>尹</del> □作 □#		□ 手作業・機械作業の併用			
解体方法		構造			本体構造の工事	有 □無				
	解 ⑤本体作	寸属品			本体付属品の工事 [	□有 □無	□ 手作業			
	方									
(解体工事のみ) □その他 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	はしての	11 (	)		その他の上事 口有	山無				
その他の場合の理由(					□上の工程における	5)→4)→30/II	序			
工作物に用いられた建設資材の量の見込み (解体工事のみ) トン 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の 種類 量の見込み 使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)		(解体]	[事のみ)				)			
(解体工事のみ) 「「「解体工事のみ」 「「「なっぱい」 「「なっぱい」 「「なっぱい」 「「なっぱい」 「はいっぱい」 「「なっぱい」 「はいっぱい」 「はいっぱいっぱい」 「はいっぱい」 「はいっぱい」 「はいっぱい」 「はいっぱい」 「はいっぱい」 「はいっぱい」 「はいっぱい」 「はいっぱい」 「はいっ	- 144 - 15 Els	> 1	71-11/24-1-0 日 の	H 17 7	その他の場合の理由	(	)			
特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の 種類 量の見込み 使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	1 1作物に用い			見込み		トン				
<ul> <li>要 見込み(全工事)並びに特定建設資材 が使用される工作物の部分(新築・維</li></ul>	特定建設	设資材廃	棄物の種類ごと		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)			
物   が使用される工作物の部分 (利楽・維   17777//ト・コンケリート   10   10   10   10   10   10   10   1	開発 見込み がは思っ				□コンクリート塊	トン				
生   廃棄物の発生が見込まれる工作物の部   トン   □(5) □(6)	物   が使用の				□アスファルト・コンクリート坤		$\Box$			
	生 廃棄物の	発生が	<b>見込まれる工作</b>	下物の部 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい		トン				
<ul><li>見 分 (維持・修繕・解体工事のみ)</li><li>□ 建設発生木材</li><li>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</li></ul>	登   分 (維	・修繕	・解体工事のみ	<i>t</i> )		トン				
■ (注) ①仮設 ②十丁 ②其隣 ①木体標告 ⑤木体付属具 ⑥その仲	車									
備考	(注)	<ul><li>①仮設</li></ul>	②土工 ③基礎	④本体構	造 ⑤本体付属品 ⑥その他					
	(注)	<ul><li>①仮設</li></ul>	②土工 ③基礎	④本体構	造 ⑤本体付属品 ⑥その他					

□欄には、該当個所に「レ」を付すこと。

## 特記事項

(建築物に係る解体工事の場合)

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)第13条第1項及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令(平成14年国土交通省令第17号)第4条の規定に基づき、契約書において記載すべき事項の内容は、次のとおりとする。

1. 分	別解体等の方法		
	工程	作業内容	分別解体等の方法
工.	①建築設備・	建築設備・内装材等の取り外し	□手作業
程	内装材等	□有  □無	□手作業・機械作業の併用
ر لح			併用の場合の理由(
工程ごとの作業内容及び解体方法	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し	□手作業
作業		□有  □無	□手作業・機械作業の併用
一角			併用の場合の理由(
容	③外装材·	外装材・上部構造部分の取り壊し	□手作業
び	上部構造部分	□有  □無	□手作業・機械作業の併用
解	④基礎·	基礎・基礎ぐいの取り壊し	□手作業
海	基礎ぐい	□有  □無	□手作業・機械作業の併用
法	⑤その他	その他の取り壊し	□手作業
	( )	□有  □無	□手作業・機械作業の併用
(	注) 該当する項目	の□にチェックマークを記入する。	
2. 解	体工事に要する費	用(直接工事費)	円(税抜き)

2.	解体工事に要する費用(直接工事費)	円_	(税抜き)
3.	再資源化等をするための施設の名称及び所在地裏面のとおり		
4.	特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用(直接工事費)		
		円	(税抜き)

(注)・運搬費を含む。

## 特記事項

(建築物に係る新築工事等の場合)

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)第13条第1項及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令(平成14年国土交通省令第17号)第4条の規定に基づき、契約書において記載すべき事項の内容は、次のとおりとする。

1.	分別解体等の方法
<b>.</b>	/J /J /J /J / T / T / Z / Z / J / J / J

	工 程	作業内容	特定建設資材廃棄物の発生見込み
工程ごとの作業内容及び廃棄物発生見込	①造成等	造成等の工事	□有□無
) }		□有  □無	
0	②基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事	   □有
作業		□有  □無	
丙	③上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事	   □有
容及		□有  □無	
びび	④屋根	屋根の工事	   □有
廃棄		□有  □無	
物	⑤建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事	   □有
発出		□有  □無	
上見	⑥その他	その他の工事	
込	( )	□有  □無	□有□無□無□

2.	解体工事に要する費用	なり	し

- 3. 再資源化等をするための施設の名称及び所在地 裏面のとおり
- 4. 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用(直接工事費)

円 (税抜き) (注) ・運搬費を含む。

<sup>(</sup>注) 該当する項目の□にチェックマークを記入する。

## 特記事項

(建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)の場合)

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)第13条第1項及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令(平成14年国土交通省令第17号)第4条の規定に基づき、契約書において記載すべき事項の内容は、次のとおりとする。

1. 分	別解体等の方法 工 程	作業	 内 容	分別解体等の方法(解体工事のみ)
Т.	①仮設	仮設工事		□手作業
工程ごとの作業内容及び解体方法		□有	□無	□手作業・機械作業の併用
لح (	②土工	土工事		□手作業
0		□有	□無	□手作業・機械作業の併用
作業	③基礎	基礎工事		□手作業
为		□有	□無	□手作業・機械作業の併用
谷及	④本体構造	本体構造の	工事	□手作業
<del>び</del>		□有	□無	□手作業・機械作業の併用
解休	⑤本体付属品	本体付属品	の工事	□手作業
方		□有	□無	□手作業・機械作業の併用
法	⑥その他	その他のエ	事	□手作業
	( )	□有	□無	□手作業・機械作業の併用
(	注)該当する項目の□	にチェックマ	ークを記入す	る。
2. 解	体工事に要する費用(	直接工事費)		円(税抜き)

3. 再資源化等をするための施設の名称及び所在地 裏面のとおり
4. 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用 (直接工事費)
円 (税抜き)
(注)・運搬費を含む。

### (書ききれない場合は別紙に記載)

			旦日 プレルン 複称 ラフス 可)

注)受注者が選択した施設を記載(品目ごとに複数記入可)

## 変 更 説 明 書

年 月 日

(発注者)

みよし市長

様

住 所 商号又は名称 代表者氏名

年 月 日付けで契約した下記工事について、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第12条第1項の規定により、分別解体等の計画等に係る変更事項について説明します。

記

- 1 工 事 名
- 2 路線等の名称
- 3 工事場所
- 4 説明内容 別添資料のとおり
- 5 添付資料
  - ①別表 (別表  $1 \sim 3$  のいずれかに必要事項を記載したもの)
    - □ 別表1 (建築物に係る解体工事)
    - □ 別表2 (建築物に係る新築工事等 (新築・増築・修繕・模様替))
    - □ 別表3 (建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等))
  - ②特記事項 (様式1~3のいずれかに必要事項を記載したもの)
    - □ 様式1 (建築物に係る解体工事)
    - □ 様式2 (建築物に係る新築工事等 (新築・増築・修繕・模様替))
    - □ 様式3 (建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等))
  - ③工程等の概要を示す資料
    - □工程表
    - ※添付資料は変更のあったもののみ添付してください。

# 再資源化等報告書

							年	月	日
(発注者)							1	/1	Н
みよし市長			様						
			住	所					
			(所在						
			氏 名 称 <i>。</i> 代表者						
			(=		_	)電話		_	_
<b>沖乳工事にはて次せの王</b> 族		・) テ 日日、	上フンナ	· /	1 0 夕 5	<b>生</b> 1 15 <i>0</i>	/祖子)	7 - M	Tio b
建設工事に係る資材の再資おり、特定建設資材廃棄物の								により	、下記のと
			記						
1. 工事名(路線等の名称)									
2. 工事場所									
3. 再資源化等が完了した年	月日			年	月	日			
4. 再資源化等をした施設の	名称及	び所	在地						
(書ききれない場合は別紙に	記載)								
特定建設資材廃棄物の種類	施	設の	の 名	称		所	在		地
5. 特定建設資材廃棄物の再	資源化	等に	要した	費用				万円	(税抜き)
								_	
(添付資料)	( )) <del>m</del> <del>d</del>	ディエティング	1 4 <u>4</u> C=	+ +	<b>⊕</b>	b +.	太九让	イ担口	
□再生資源利用実施書	(业安事	≠垻ど	記載し	ンにも	の。 ア	ークをひ	めわせ	く提出	i。)
□再生資源利用促進実施書(必要事項を記載したもの。データをあわせて提出。)									

### (別紙)

特定建設資材廃棄物の種類	施	設(	の 名	称	所	在	地
							,